

「第2回市議会震災避難訓練」を実施しました

訓練の目的：巨大地震が発災した際、落ち着いて全議員が安全な場所への避難を行うこと

令和6年11月29日午前10時より小金井消防署指導の下、3部構成で訓練を実施しました。

第1部：布担架搬送体験訓練

避難行動の際、ケガ人等を搬送するために布担架を使い搬送する訓練を行いました。



広げる前の「布担架」常備場所も確認



消防署による広げ方と使い方指導



搬送者が持ち手を握り肩ストラップを掛け



掛け声で一気に持ち上げ安全な場所へ避難

訓練を終えて一言：「重さの負担はなかった」「移動も問題なくできた」「布担架は事務局入口の左手に常備されていることが認識できた」

第2部：震災避難訓練

本会議中に地震の発災を想定し、全員が駐車場まで無事避難を目指した訓練を行いました。

一人ひとりが考え行動することを目的に、ハプニング要素を訓練に盛り込みました。



3階踊り場で要救助者に遭遇



急きょ布担架チームを結成し搬送



1階で搬送を交代



無事に駐車場へ到着

訓練を終えて一言：「事前の布担架訓練が役に立った」「布担架のメリットを見出せた」「ハプニング要素の盛り込みは良かった」

第3部：水消火器訓練

消防署の指導を受け訓練を行いました。



訓練を終えて一言：「定期的な訓練が必要だと思った」



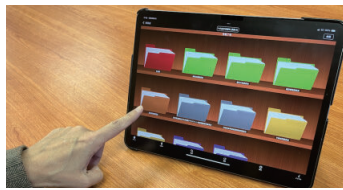
講評：小金井消防署より

- ①ハプニング要素に対しては対応ができていた。
- ②周りに対する配慮や注意する心がけについては、「ケガをしている人は居るか？」や「みんな大丈夫か？」等の周囲への自発的な声かけや動作があれば良い。
- ③避難行動において、要救助者への対応は議会としてあらかじめ議論し、取り組み方を決めておくことが望ましい。
- ④普段から担架の場所を確認しておくといい。

全議員に「タブレット端末」を貸与 運用を開始

小金井市議会は令和6年第4回定例会より以下を目的として、全議員にタブレットを端末を貸与しました。

- ①議会運営の更なる効率化
- ②議会・議員活動のより一層の活性化
- ③将来的なペーパーレス化



文書管理を行うクラウド上の電子本棚



これまでの経過	
2017年9月	議会改革での議論が始まる
2022年4月	議会運営委員会で3つの先進市議会を視察
5月	議会改革での本格的な議論を開始
10月	「小金井市議会タブレット端末導入・検討プロジェクトチーム」が発足 (会議8回)
2023年3月	最終報告を議会運営委員会へ報告
9月	市議会として予算要望を決定
10月	「小金井市議会タブレット端末導入・準備検討プロジェクトチーム」が発足 (会議7回)
2024年9月	最終報告を議会運営委員会へ報告
11月	タブレット貸与・操作研修
11月	令和6年第4回定例会より運用を開始